

## 8月の災害教訓カレンダー

日	災害	教訓
1	1982年 昭和57年台風10号(8/1~3) 雨台風のため各地で浸水被害が続出。死者・行方不明者95名、床上浸水2万4878棟、床下浸水8万9024棟。	
2	1971年 昭和46年台風19号(8/2~6) 宮崎県えびの市で1518mm、九州西部で平均1000mmの雨が降った。死者70名。	
3	1965年 松代群発地震 ほとんど終息した1970年末までに松代で有感地震62821回、うち震度5、4はそれぞれ9回、50回。	1968年4月、国土地理院に事務局を置く地震予知連絡会が発足
4	781年 富士山噴火 文献上最も古い、正確な年代をつけた富士山の噴火の記録とされている。	
5	1783年 浅間山噴火 火砕流、土石なだれ、吾妻川・利根川の洪水などにより死者1,151名。	
6	1992年 平成4年台風第10号(8/6~8/9) 九州から四国の山沿いで日降水量が300~400mm、平野部で200mm前後。死者2名、住宅全壊47棟、床上浸水204棟など。	
7	1880年 新潟大火 6,000戸以上、新潟町の約6割以上の家が焼失した。火は約16時間燃え続けた。	
8	1911年 稗田山崩れ 崩壊した範囲は全長約3270m、幅約1000m、高さ約300mに及んだ。死者23名。	
9	1974年 桜島噴火 土石流発生、死者5名。この年2度の噴火(1度目は6/17)により死者8名。	「活動火山周辺地域における避難施設等の整備に関する法律」の制定
10	1801年 鳥海山噴火 荒ヶ岳付近で爆発、登山者8名が噴石で死亡。	
11	1996年 平成8年台風第12号(8/11~15) 宮崎県えびの市で期間降水量540mm。鹿児島市で最大瞬間風速58.5m/sを観測。	
12	1985年 御巣鷹山日航機墜落事故 乗員乗客524名のうち死者520名。著名人なども多く乗っていた。	
13	1949年 昭和24年台風第9号(ジュディス台風) 鹿児島県霧島町では期間雨量が865mmに達した。死者154名。	
14	1953年 南山城豪雨 京都では土石流や、堤防決壊で死者・行方不明者が336名。被災地全体で死者290名、行方不明者140名。	
15	1919年 給油艦志自岐沈没事故 重油を輸送中の給油艦・志自岐が、台湾沖から台風風に巻き込まれ遭難。死者15名、行方不明者93名。	
16	1980年 静岡駅前地下街爆発事故 2度目の爆発は大規模なもので多くの通行人が重軽傷を負った。死者15名。	消防法施行令等を改正、緊急ガス遮断装置やガス漏れ警報装置などの設置が法的に義務化
17	1963年 みどり丸沈没事件 沖縄本島と久米島を結ぶ「みどり丸」が横波を受けて転覆・沈没。死者・行方不明112人。	
18	1968年 飛騨川バス転落事故 観光バス2台が集中豪雨による土砂崩れに巻き込まれ、増水していた飛騨川に転落。死者104名。	事故の翌月には全国の国道で総点検が実施され、「道路防災点検」として制度化。「雨量にもとづく事前通行規制」も制度化された。
19	1961年 北美濃地震 福井・岐阜・石川3県に被害があった。死者8人、全壊家屋12戸、道路損壊120ヶ所、山崩れ99ヶ所。	
20	2007年 チャイナエアライン120便炎上事故 那覇空港到着直後にエンジンから出火し爆発、炎上。火災が広がる前に全員が脱出し、機体は全焼したが死者は出なかった。	
21	1918年 (8月下旬)スペインかぜ世界的大流行 日本の人口約40%の人が発症し、死者388,727人。	
22	1718年 信濃・三河で地震 伊那遠山谷で山崩れ、せき止められた遠山川が後に決壊し、死者50余名。	
23	416年 遠飛鳥宮付近の地震 被害の記述なし、日本最古の記録上地震	
24	1938年 大森民間機空中衝突墜落事故 日本飛行学校訓練機と日本航空旅客機(乗客はなし)が空中衝突。墜落し爆発により死者85名。	
25	1859年 昭和34年梅雨前線豪雨(8/25~26) 雨量は静岡県島田市で5~6時に320mmを記録。被災地全体で死者47名。	
26	2008年 平成20年8月末豪雨(8/26~31) 1時間雨量の記録を更新した地点が全国で21か所にもなった。	
27	2004年 平成16年台風第16号(8/27~31) 期間降水量は、西日本の太平洋側で500mmを超えた。また、30日夜高松港、宇野港などで観測開始以来最も高い潮位を観測した。	
28	1960年 五輪台風(8/28~30) 兵庫県西宮市の道路工事現場で土砂崩れが起き、24名が死亡した。全体で死者50名。	
29	1741年 渡島大島噴火による津波 23日に噴火。29日の早朝に津波、北海道で死者1467名。佐渡・能登・若狭にも津波。	
30	2011年 平成23年台風第12号(8/30~9/6) 総降水量は、紀伊半島を中心に広い範囲で1000mmを超え、紀伊半島の一部の地域では解析雨量で2000mmを超えた。死者82名。	
31	1896年 陸羽地震 秋田県の仙北郡・平鹿郡、岩手県の西和賀郡・稗貫郡で被害が大きく、両県で全壊5792戸、死者209名。	